

# 市川和広 県議会レポート



## 令和5年第3回定例会 本会議一般質問9月22日(金)

### 市川の提案

湘南東部障がい保健福祉圏域で暮らす重症心身障害者を今後どのように支えていくのか、本人はもとより、家族や関係市町村、事業者、医療関係団体等と必要な支援体制の構築を

#### 市川

「県として、湘南東部障がい保健福祉圏域における重症心身障害者の支援の充実に向け、今後どのように対応していくのか、知事の見解を伺う。」

#### 黒岩知事

「重症心身障がい者が暮らす施設は、県所管域に5か所設置されていますが、湘南東部の障がい保健福祉圏域にはこうした施設がないため、県は新たに利用が必要になった場合は、他の地域の施設を利用できるよう広域的な調整を行っている。」

また、家族の負担を軽減するため、障がい福祉サービスなどの地域資源の充実に努めている。以前と比べ、訪問サービスや日中活動の場、グループホームなど利用できるサービスの選択肢は増えているが、まだまだ現状の地域資源は十分ではありません。

県は今後、本人の願いや希望を第一に考え、地域での生活が可能となるよう、さらに支援の充実を図っていくことが重要だと考えている。

そこで、グループホームの設置補助や、障がい福祉サービス事業所に看護職員を配置した際の補助など、さらなる地域資源の充実に取り組んでいく。また、小児医療機関等に短期入院で受け入れてもらうメディカルショートステイ事業の実施について、現在、働きかけを行っている。

さらに、湘南東部障がい保健福祉圏域において、重症心身障がい者を今後どのように支えていくのか、本人はもとより、家族や関係市町村、事業者、医療関係団体等と必要な支援体制について検討していく。」



令和6年度予算に、湘南東部圏域における重症心身障がい児・者や医療的ケアを必要とする方の地域生活を支えるため、支援体制に関する課題や対策を検討する予算が計上されました。

### 市川の想い

## 重度障がいのある方々が、親なき後も 「いつもの街でいつもの暮らし」を送れる地域社会を

#### 記事以外に本会議で質問した項目

- 「生きづらさ」「くらしにくさ」への支援について
- 手話言語の推進について
- ワインを通じた観光振興について
- 物価高騰下における中小企業の生産性向上に向けた支援について
- 慢性腎臓病対策について
- 脱炭素の自分事化に向けた取組について

詳しくは、市川かずひろホームページの「9月22日一般質問」をご覧ください



# 産業労働ダイジェスト

## 市川の提案

ビジネスケアラの実態を把握し、  
労働生産性を低下させない取り組みを考える



## 神奈川県のビジネスケアラー **県内約19万人**

過去5年間に本県で介護や看護により離職した人は、**約1万1,700人**

50歳代が**49.2%**(約10人に1人がビジネスケアラー)

60歳代が**22%**

超高齢社会の日本において、仕事をしながら家族の介護に従事する、いわゆるビジネスケアラーの数は、ピークを迎える2030年時点で**約318万人**になると推計されており、労働力人口の減少などに直面する我が国では、きわめて重大な課題です。

また、介護発生による労働者の生産性低下等が日本全体に与える経済的損失額は、**2030年時点で約9兆円と推計されており**、国において、喫緊の対応が必要とされています。

産業労働常任委員会における私の質疑でも明らかになりましたが、県では離職防止に向けた効果的な支援策を行うため、ビジネスケアラーが就業する企業の業種や規模などは把握しておりません。

令和6年度については、県が実態を把握するよう働きかけてまいります。そして、**県内で働く方々が介護や看護によって離職することがないような実効性のある取り組みを提案してまいります。**

## 令和6年度「産業労働関係予算」を是非ご活用ください

自民党産業労働部会長として、県内99%を占める中小企業・小規模事業者をいかに守り、労働生産性の向上、人手不足、価格転嫁などの諸課題に対し、どう実効性のある取り組みが出来るのかを考え委員会に臨んでまいりました。



- **中小企業支援パッケージによる地域経済活性化予算** **約93億円**
- **成長産業（ロボット・ベンチャー・先端技術等）の創出・育成予算** **約48億円**
- **企業誘致・海外との経済交流予算** **約29億円**
- **労働環境・就業支援・障がい者雇用・産業人材の確保、育成予算** **約22億円**

令和6年度中小企業生産性向上  
促進事業費補助金について  
- 神奈川県ホームページ



令和6年度神奈川県小規模事業者デジタル  
化支援推進事業費補助金について  
- 神奈川県ホームページ





# 決算ダイジェスト (令和5年10月11日~11月2日)

## 市川の提案 1

### 「いかに工夫をして歳入を確保するか」

この視点を大事に、歳入確保の手段の一つである

クラウドファンディングの積極的な活用を促してまいります

神奈川県におけるクラウドファンディングの活用状況については、私が厚生常任委員長の時に「かながわコロナ医療・福祉応援基金」として令和2年度から令和4年度までに5,500万円を超える寄付金をいただいた実績があります。

このように、使い道を共感していただける事業があれば、クラウドファンディングを活用することは非常に有効であります。私は、当委員会において、「各部局が積極的に活用すべきであるとともに、神奈川県の考え方に合った事業を行う事業者や団体がクラウドファンディングを活用する際、事業者と県民をつなぐ役割を県がしっかり果たしていくことは大変重要なことだ」と指摘しました。

ただ、県には各部局がクラウドファンディングを活用する際に、参考とすべき基本的な考え方や実施手順、どこの部局が取りまとめるのかといった、指針が策定されておりません。

私から「クラウドファンディングに関する指針を策定している他自治体のことを紹介しながら、県においても指針を策定すべき。」と提案しました。

当局より「検討する」との答弁をいただきましたので、令和6年度の検討状況を注視してまいります。

## 市川の提案 2

### 「かながわ知的財産活用指針の改定を」

私が秘書をしていた甘利明衆議院議員が平成13年に自民党知的財産関連合同会議で提言した「知財立国宣言」。その翌年には、小泉純一郎総理が施政方針演説で、「知的財産を戦略的に保護・活用し、日本産業の国際競争力を強化することを国家の目標とする。」と演説され、知的財産立国としての歩みが始まりました。

以来、ものづくりは日本の財産であるが、日本のものづくりは加工の技術で、創造の技術ではない。自国発のローカルスタンダードを国際標準にすることを国家戦略として取り組むべきと、ことあるごとに聞いてまいりました。

そんなこともあり、今回の決算特別委員会では、本県における知的財産の活用について、当局にその考え方を質し、県においても県内の研究シーズを社会実装に向けたコーディネート機能の仕組みづくりや、人材育成の強化等、知的財産を戦略的に進めるよう要望しました。



# 市川の活動

(議連報告等)

## 手話の聖地鳥取へ



神奈川県議会手話言語普及推進議員連盟の事務局長として、鳥取県手話言語条例制定10周年記念セミナーに出席。鳥取県に負けないように、神奈川県においても手話言語の普及推進に取り組みます。



## 神奈川県議会日韓議員連盟事務局長として第18回済州フォーラムに参加



「地方議会のグローバルネットワーク構築のための公共外交モデル」をテーマとするセッションに登壇し、地方議会における活動の重要性について意見を述べました。

## 第2回手話言語の国際デーinふじさわを開催しました



## 神奈川のワインの魅力を活かした地域振興・観光振興を



相模原産のブドウを使って醸造した「相模原ワイン」を販売しているケントクワイナリーを見学しました。

## 海水浴場文化を次世代につないでいくために



牧島功(横須賀市)先生の後任として神奈川県海水浴場組合連合会の顧問団の団長に就任しました。神奈川の海を守り、誰もが安心して親しめるビーチの実現を目指します。



## 湘南しらすの魅力をもっと発信してまいります



神奈川県しらす船曳網漁業連絡協議会の顧問として、しらす漁、獲れたしらすの加工から消費者に届けられるまでの一連の流れを見学しました。

大使を送る感謝のタペストパン特命全権



神奈川県議会日タイ友好議員連盟の幹事長として、タイ王国と神奈川県議会の更なる交流を図ります。

## 神奈川県議会議員 市川和広 PROFILE

- 1971(昭和46年)年生まれ
- 湘南台中学卒
- 日本大学藤沢高校卒
- 日本大学法学部経営法学科卒
- 大和工商リース㈱入社(現大和リース㈱)
- 衆議院議員(甘利明)公設秘書
- 藤沢市議会議員(2期)
- 神奈川県議会議員(3期目)

- 所属 自民党神奈川県支部連合会 副幹事長  
 役職 神奈川県印刷工業組合湘南小田原支部 顧問  
 神奈川県海水浴場組合連合会 顧問団長  
 神奈川県議会手話言語普及推進議員連盟 事務局長  
 藤沢市バドミントン協会 会長  
 日本大学藤沢高等学校・中学校同窓会 会長  
 藤沢市サーフィン協会 顧問  
 藤沢市柔道協会 顧問

〒251-0015 神奈川県藤沢市市川名2-2-3 第1えのはビル1階  
 電話 0466(26)4230 FAX 0466(26)4220  
 e-mail ichikawa-kanagawa@soleil.ocn.ne.jp

<http://ichikawa-1ch.com>

市川かずひろ

検索

